

令和4年度 第3回 印西市社会教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和5年3月17日（金）  
午後2時00分から午後4時00分まで
- 2 開催場所 印西市文化ホール 多目的室
- 3 出席委員 川村委員、菊地委員、松崎委員、篠原委員、石川委員、  
押田委員、馬場委員、松山委員、高橋委員、恩田委員、  
小林委員、箱崎委員、三浦委員
- 4 欠席委員 河村委員、平石委員、浅田委員、香取委員
- 5 事務局の出席 印西市生涯学習課  
鈴木課長、石川係長、飯塚主査、山崎主査補、川手主事
- 6 内容 報告  
(1) 令和4年度事業報告について  
(2) (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設事業の進捗について  
(3) 地域と学校との連携事業について  
(4) 市子ども会運営状況について  
  
議事  
(1) 令和5年度事業計画（案）について  
  
その他  
社会教育施設整備の進捗について
- 7 会議要旨

議事（1）令和4年度事業報告について

事務局 事務局より報告（1）について説明

委員 資料に参加者の記載があるが、この事業にとって計画通りなのかどうかかわからない。見込み数を考慮し計画していると考えるが、本資料にも記載することを提案する。

事務局 今後の資料作成について検討していく。

委員 放課後子ども教室について、本埜地区に限って行われているのか、ほかの地区についての実施状況について伺う。

- 事務局 放課後子ども教室については、合併前から行っており、継承している事業である。
- 委員 他の地区で実施しているかを伺う。
- 事務局 地区の状況や、人数、スタッフ等の問題もあることから、他地区で同様の事業が展開できるかどうかを今後検討していく。
- 委員 二十歳を祝う会について、対象人数について伺う。
- 事務局 市内在住者を対象としているが、9月末時点で1,030人であった。
- 意見・質問等については以上。
- 議事（2）（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設事業の進捗について
- 事務局 事務局より報告（2）について説明
- 委員 民間の資金やノウハウを活用した事業は初めてであったと記憶している。他でも活用していく予定はあるか伺う。
- 事務局 PFI事業としては市としては初めてである。今のところ、こういった形での整備を行う予定はない。
- 委員 先進的なクリニック、とあるが、これは市の施設なのか。指定管理といった説明もあったが、責任はどこが負うのか、また、貸館部分について今後どのようなになるのか伺う。  
駐車場について、民間が管理していくとのことであるが、利用は無料か伺う。
- 事務局 複合施設については、市と指定管理者が契約を行い、管理・運営を行う。医療機関については、民間がこれを行う。  
また、立体駐車場については、民間施設の一部であり、市が借りるという形をとる。
- 委員 駐車場について市民の利用については、有料となるのかを伺う。
- 事務局 施設利用者については2時間無料となる予定である。
- 委員 整形外科であることは明らかになっているのか伺う。

事務局 P F I の性質上、事業者側の提案を基に選考を行い、相手方となった事業者と契約するもの。整形外科を入れることは事業者側の提案によるものである。この方法の利点としては、借り入れを行うことができ、費用の平準化ができる点が挙げられる。

委員 P F I で提案は何者からあったのか伺う。

事務局 2 者である。

委員 ホール等の利用料は決まっているのか伺う。

事務局 基本的に中央駅前地域交流館の利用料を基に設定している。

委員 こういった事業の場合、民間の店舗や住居設備を設け、売却した資金を活用する等といった手法をとると考える。本件については、民間施設が少ないようであるが、これは教育委員会の意向であったのかを伺う。

事務局 提案があった 2 者の中では住居の構想はなかった。

意見・質問等については以上。

### 報告（3）地域と学校との連携事業について

事務局 事務局より報告（3）について説明

委員 今後、コミュニティ・スクール、地域学校協働本部については、導入する方向で考えているか伺う。また、現在の印西市での状況について、どこまで進んでいて、何が不足しているのかについて伺う。

事務局 導入するべきかどうかを含め検討していくものと考えている。課内での検討内容として、1 校モデル校を選定し、結果を踏まえその後の検討を進めていく方針を考えている。

現在の市の状況について、コミュニティ・スクールについては、導入している学校はない。また、地域学校協働本部については、国・県が示すような体制では設置されていない。しかし、さわやかコミュニティ推進事業を行っており、これが地域学校協働本部への参加が想定される方々が参加されているため、これを本部へと移行していくことを検討している。

委員 さわコミについては、地域によって行っている内容が異なる。また、導入当初は意見交換会として始めていたと記憶しているが、現在はさわコミ自体で事業を行うようになっている地域もある。

当初の形で継続していると考えていては、現状と乖離してしまう。

体制としては本部と類似している部分はあるかもしれないが、内容は異なる

と考える。

事務局 お見込みのとおり、さわコミや放課後子ども教室については、国・県が想定しているものとは異なることは認識している。  
しかし、所属している方々が類似していることから、既存の組織を生かす形で移行する方が地域の方の理解が得られやすいかと考えている。

委員 1 ページを見ると、今住んでいる地域の状況に近い。学校を核とした地域の活性化が望まれるものと考え。本埜地域は児童が少ない、一方、ニュータウン地域は大規模校となっている。うまく融合できないかと考える。この状況を考えると印西市として、学校と地域を展開していただきたい。令和5年度の事業計画の中に取り入れるということも検討していただきたい。

委員 県立高校について、組織にはPTA、町内会の代表、近隣企業、スポーツジムの社長や施設長、大学・専門学校関係者が所属し、事業計画や方針について意見を交わしている。県ではこれを小中学校まで広めていこうと考えているのではないかと。また、同窓会の会長は学校への強い思いもあり、生の声が聴くことができる。  
県立高校の現状としてお話をさせていただいた。

委員 モデル校での導入と説明があったが、さわコミについては地区での集まりであるはず。地域学校協働本部と重なる部分としては、地域の団体であるPTA、防犯組合などで、民間企業や卒業生などは含まれていない。それを考えると、現状のさわコミでは足りない。モデル校での実施となると、中学校単位でしかできないのではないかと。さわコミでは小学校単位で実施するのは難しい。実施するのであれば、新しい組織を作らなくては稼働までは至らないと考える。

事務局 お見込みのとおり、さわコミだけで対応できるとは考えていないが、これをベースにしたうえで、地域学校協働本部を導入するという一つの案として検討している。今後、社会教育委員の皆さまの意見を頂戴しながら検討を進めたい。  
学校運営協議会を設置する場合、学校の運営について、協議会で説明し、承認を得る必要がある。現在、市内の学校ではそういった形はとられていない。地域学校協働本部に所属する団体をどうするかといったことも含め、教育委員会全体の課題として、検討を進めていきたい。

委員 印旛明誠高等学校で取り組まれている活動がよりコミュニティ・スクールに近いと感じる。校長先生に高校の現状を詳しく聞きたい。

委員 開校1年目から開かれた学校委員として行っている。同窓会や企業の方も参加していることから、印旛明誠高等学校から意見を聞いてはどうか。

意見・質問等については以上。

#### 報告（４）市子ども会運営状況について

委員                   子どもが減っている地域がある一方、増加している地域もある。そちらについては、こういった組織を作らずとも支障がないという事が伺う。

事務局               現在、子ども会の加入について相談がない。また、マンション単位・町内会単位で子ども会に近い活動をしていると伺っている。このことから市子連として組織するまでではないと考える。

委員                   かつては所属している子ども会が多数あった。  
市子連の下に学区があり、その下にさらに地区の子ども会があった。学区で役員を決め、そこからさらに市子連の役員を行ったり、市子連の行事を行ったりといった体制であった。それでも保険に低額で加入することができたため、所属子ども会が多かった。しかし、やはり役員の負担が多く、市子連への加入が減ってきた。  
一方、子ども会のような団体がないかという点、新しい区画では類似した団体ができている。市子連には加入せずに、その中では活動できている。子どもが多い地域では代替組織があり、少子化が進んでいる地域ではそもそも子どもがいない。アンケートを行った意図が見えない。

委員                   アンケート結果を踏まえてこの先どうするか、なぜアンケートを取ったのかを伺う。

事務局               結果を基に、市子連の解散、県子連・印子連からの脱退を検討している状況である。

委員                   なくす方向であるという事か。

事務局               お見込みのとおり。

委員                   寂しくは思う。このような状況になる前に、何かできればよかったと思う。

意見・質問等については以上。

#### 議事（１）令和５年度事業計画（案）について

事務局より報告（１）について説明

事務局               （補足）  
竹袋に平将門伝説にまつわる「将門の井戸」があり、保護柵が老朽化していることから修繕を行う予定。

また、掩体壕の整備を予定している。草が繁茂することで周辺の住宅への影響が考えられる。また、刈り取ってしまうと土が飛散するため、クローバー等の種子吹付を検討している。

委員 生涯学習事業、文化芸術関連事業と分かれているが、芸術文化も生涯学習の一部ではないか。また、音楽祭などのイベントと調査や維持管理、修復で分けてはどうか。ジャンルについて地域の活性化、自然環境、歴史などでの分類したうえで、今年度はどこに注力するかといったものがあるのも良いのではないかと考え提案する。

事務局 生涯学習と文化芸術で分けているのは、課の所管事務が大きくこの2つに分けられていることによる。資料の構成については、事業報告の際の意見も併せて、今後、検討していく。

委員 個人的にSDGsが世で言われているように、環境に対するテーマがないことが残念である。  
ニュータウン地区には多くの企業が存在していることから、CSRの一環として、環境にまつわるイベントに参画してもらう等、検討していただきたい。

事務局 環境に対する事業という事であるが、生涯学習課の事業としてイベントとして実施していくことは難しいが、公民館主催事業として実施していけないか、情報共有を図りたい。

委員 巴塚の説明板について、自身も調査したことがあり、作成にあたってはお声掛けいただきたい。

事務局 現在、作成の進め方についても検討している段階であり、その中で、お願いしたいとなった際はお声掛けする。

委員 まず、生涯学習課として、どういう目標をもっているかを記載し、その後、分類することで分かりやすく記載することができるのではないかと考える。

事務局 どういった事業に対し、目標を持っているかなど、今後の資料作成にあたり提示できればと考える。

意見・質疑については以上。  
議事（１）について承認をいただいた。

その他 社会教育施設整備の進捗について

事務局より資料６を基に説明

委員 文化ホールについて、民間運営となることで、使用料が上がるということはあるのか、伺う。

事務局 現在市のホームページでも料金体系は示しており、現行の料金を上回ることはないと聞いている。

以上

#### 使用した資料

- 資料1 令和4年度事業報告について
- 資料2 (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業 基本設計経過報告
- 資料3 これからの学校と地域
- 資料4 市子ども会の運営状況について
- 資料5 令和5年度事業計画(案)について
- 資料6 社会教育施設整備の状況について

令和4年度 第3回 印西市社会教育委員会議の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和5年3月31日

印西市社会教育委員

署名委員 馬場 みどり

---